

# 【Factに迫る！】『結晶性知能』について

前回、『オーセンティックリーダーシップ』について紹介いたしました。  
今回も、読者の反響から、『結晶性知能』について紹介します。

今回、厚生労働省厚生白書 等から「結晶性知能」について紹介いたします。

# ①-1『結晶性知能』

## 「流動性知能と結晶性知能について」（下図）

### 結晶性知能

#### □流動性知能と結晶性知能

流動性知能

新しい状況や課題に素早く適応する  
情報処理スピード、単純な記憶力、計算力

結晶性知能

経験や学習によって獲得する  
知識・判断力、言語能力

知的な能力には、主に「流動性知能」と「結晶性知能」の2種類があるとされています。

流動性知能は、新しいことの学習や環境に適応するために必要な問題解決能力、単純な記憶力・計算力などスピードや効率性が問われる能力です。

一方、結晶性知能は、経験から学習することで身につけられた知識や判断力、言語理解、一般知識、経験的判断に関する能力となります。

(図1) 著者作図

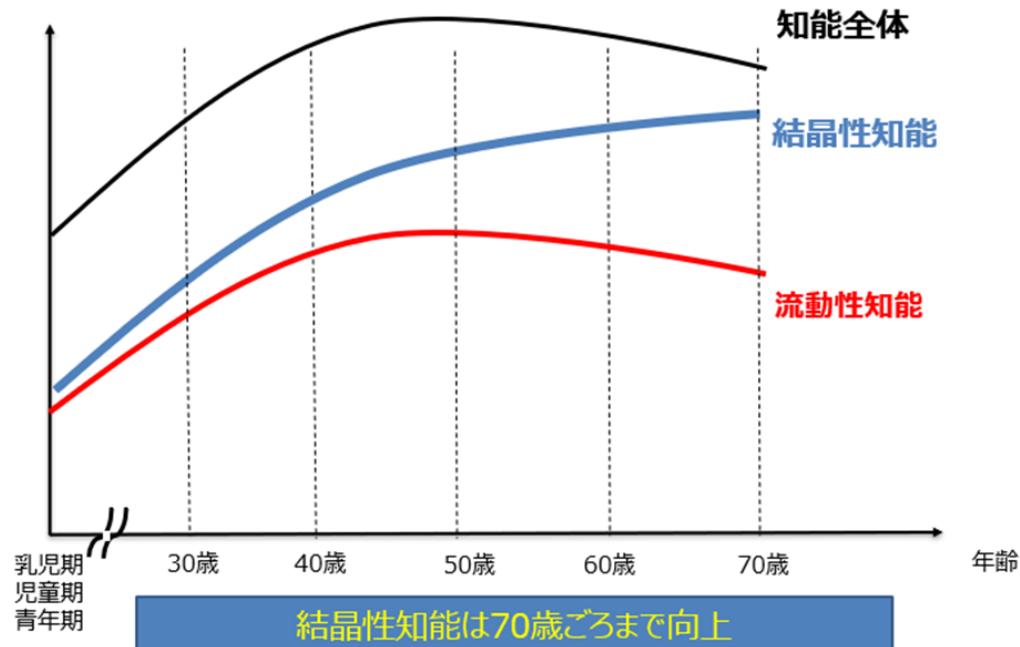
引用：厚生労働省 厚生白書（平成9年版）、日経新聞社2025年1月18日朝刊  
60歳の地図「振り返り」が人生に贈り物をもたらす 榎本博明[著] 草思社

# ①-2『結晶性知能』

## 「流動性知能と結晶性知能の発達的変化モデル」（下図）

### 結晶性知能

□ 流動性知能と結晶性知能の発達的変化のモデル (Hom. 1970)



考える、判断する、記憶するといった知的な能力は、加齢に伴ってどう変化するのでしょうか。

国立長寿医療研究センターが40歳以上の住民を対象に実施している老化に関する疫学調査では、知的な能力の種類によって加齢変化が異なることが明らかになりました。

(図2) 著者作図

引用：厚生労働省 厚生白書（平成9年版）、日経新聞社2025年1月18日朝刊  
60歳の地図「振り返り」が人生に贈り物をもたらす 榎本博明[著] 草思社

## ①-3『結晶性知能』

調査を担当する老化疫学研究部の西田裕紀子副部長は「従来の学説では、流動性知能のピークは10代後半といわれていたが、実際には中年期まで十分に維持されていた。結晶性知能は学説同様、高齢になっても向上し、高い状態が保たれていることがわかった」と述べられています。

流動性知能は、50代中ごろまで維持され、その後は急速に低下、一方、**結晶性知能は70歳ごろまで伸び続けた**後、ゆるやかに低下します。

西田副部長らは、「好奇心が旺盛で新しいことにチャレンジする人は、そうでない人より結晶性知能の得点が高かった。記憶をつかさどる脳の海馬では、年をとっても神経細胞が新しく生まれてくる。楽しくやる方が記憶に残りやすく上達もしやすい。」とも述べられています。

まさに、わくわくエキサイティングに仕事ができることは、我々ビジネスパーソンにとっても非常に大切であることがわかります。

# ①-4『結晶性知能』

## 「結晶性知能」（下図）

### 結晶性知能

#### □流動性知能と結晶性知能

流動性知能

新しい状況や課題に素早く適応する  
情報処理スピード、単純な記憶力、計算力

結晶性知能

経験や学習によって獲得する  
知識・判断力、言語能力

実社会で有能に働くには、計算の速さや暗記力よりも  
人生経験や仕事経験によって培われる知恵を働かせる  
ことが重要

結晶性知能は経験や学習によって  
獲得する知識・スキル、判断力、言  
語能力です。

実社会で有能に働くには、計算の速  
さや暗記力よりも、人生経験や仕事  
経験によって培われる知恵である結  
晶性知能を働かせることが重要です。

結晶性知能は、好奇心・柔軟性な  
どの非認知能力\*やクリエイティブな  
マーケティング人材の能力にも通じま  
す。

(図3) 著者作図

引用：厚生労働省 厚生白書（平成9年版）、日経新聞社2025年1月18日朝刊  
60歳の地図「振り返り」が人生に贈り物をもたらす 榎本博明[著] 草思社

# ①-5『結晶性知能』

そして、結晶性知能も伸ばすことで、経験から見出される強みを認識した上で、働きがいを感じられる役割に向けて取り組むと、強みを伸ばしながら自分らしいキャリアを歩めます。

IKIGAI\*\*にも通じますし、楽しくわくわく良い仕事にも通じます。  
学んだことを活かして革新、コラボレーション、貢献を行えます。

これらのことは、我々ビジネスパーソンにとっても大きな気づきになるのではないでしょうか。

当ビジネスコラムの読者の反響からも、「一生成長したい」「死ぬまでいつまでも成長したい」とのサステナビリティを意識されている嬉しいコメントを頂いております。  
著者自身にとっても非常に勇気づけられる有難いコメントです。

VUCA時代のエクセレントビジネスパーソンは、「結晶性知能」を伸ばしていくことで、いつまでも変化できる自分自身をマネジメントし、エキサイティングに、「ありたい姿」である未来の価値を創造し、自分らしい「ウェルビーイング」に近づける可能性が高まります。

\*既寄稿『非認知能力』(2024.04.01) 参照

\*\*既寄稿『働きがい』(2025.03.03) 参照

# 最後に

医薬品・医療機器企業はこれから、「結晶性知能」を業務に反映することで、自社を「トランسفォーメーション」し、持続可能（SDGs）な国民皆保険を含めた社会保険制度維持に貢献していくべきと考えます。

2025年12月

文責：日本ジェネリック製薬協会 広報委員会コミュニケーション広報戦略部会

# (参考情報)

○『オーセンティックリーダーシップ』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250901.html>

○『価値創造思考（イノベーション思考）まとめ』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250801.html>

○『価値創造思考（イノベーション思考）パート3』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250701.html>

○『価値創造思考（イノベーション思考）パート2』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250606.html>

○『価値創造思考（イノベーション思考）』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250501.html>

○『イノベーション・プラットフォーム』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250401.html>

○『働きがい』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250303.html>

○『心理的安全性』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250203.html>

○『社会的インパクト』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250106.html>

○『マネジメント現在・過去・未来（パート3）』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241202.html>

○『マネジメント現在・過去・未来（パート2）』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241101.html>

○『マネジメント現在・過去・未来』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241001.html>

○『金融リテラシー』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240902.html>

○『マーケティング・イノベーション』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240801.html>

○『人材バランスシート』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240701.html>

○『キャリアオーナーシップ』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240601.html>

○『レジリエンス』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240501.html>

○『非認知能力』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240401.html>

○『ファイナシャル・ウェルビーイング』：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240304.html>

○『イノベーションと無形資産』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240201.html>

○『非財務情報可視化』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240109.html>

○『2023年ノーベル経済学賞、ノーベル生理学・医学賞』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/231201.html>

○『リスキリング（鳥の目、虫の目、魚の目）』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/231101.html>

○『三位一体の労働市場改革』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/231002.html>

○『女性活躍推進』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230901.html>

○『次世代育成支援対策』について：日本ジェネリック製薬協会JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230801.html>

○『AI戦略』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230703.html>

○『PBR革命』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230601.html>

○『日本版ジョブ型』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230501.html>

○『Society 5.0』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230403.html>

○『ウェルビーイング・マーケティング』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230301.html>

○『サステナビリティ・トランسفォーメーション（SX）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230201.html>

○『インバウト加重会計』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230105.html>

○『KPI経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221201.html>

○『価値創造経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221101.html>

○『ムーンショット経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221003.html>

○『人的資本経営（パート3）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220901.html>

○『人的資本経営（パート2）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220801.html>

○『人的資本経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220701.html>

○『ウェルビーイング経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220601.html>

○『VUCA時代経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220510.html>

○『パーバス経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220325.html>

○『ESG経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA

<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220120.html>